

スマホ・タブレット勉強会 企画書

概要:

最近のスマートフォンの普及により、携帯電話をスマートフォンに買い換えた人が増えてきているが、せっかくのスマートフォンを電話にしか使っていないなど活用されていない状況がある。これはとてももったいない。

スマートフォンやタブレットを活用できるようになるには、講習会などを開いて参加してもらう方法があるが、専門の講師を招くタイプの講習会では費用が発生してしまい一過性のものになりやすい。

そこで参加者自ら情報を持ちあつての勉強会（相互学習）という形を取ることで、費用を抑え長く続けられるものにしたと考えている。

この勉強会を実施することにより、以下のような付随効果も期待できる。

- スマホやタブレットを活用することでデジタルデバイドの解消や災害時の情報収集手段に利用できる。
- 周りにスマホやタブレットを使いこなす人が増えることで地域全体の IT スキル向上が見込める。
- スマホやタブレットという共通の話題で集まることによって気軽に学び話し合える場ができる。
- 個人による勉強会実施の前例を作ることで住民による公共施設活用の機会が増える。

目的:

- スマートフォンやタブレットを買ったのはいいが活用ができず勿体無いと感じている方々を対象に、同じように感じている人たちが集まり相互に情報を交換することによって費用をなるべくかけずにITスキルの向上を目指す事を目的とする。

勉強会の形式:

参加者発表による相互学習形式

対象者:

スマートフォン、タブレットを活用できずもったいないと感じているシニア世代

開催日時・期間:

月 1 回 2 時間程度

条件：シニア世代が集まりやすい曜日と時間帯（平日午前 10 時頃？）

2014 年 8 月より、3 回以上継続

場所・設備:

内原中央公民館

条件：定員は10人程度、テーブル、椅子、コンセントが使える部屋

※要相談、ホワイトボード、プロジェクター、インターネット回線

当日スケジュール:

開始時間	内容	所要時間
-00:30	入室、会場準備	15分
-00:15	開場、受付	15分
00:00	開会、説明	5分
00:05	アプリ紹介（一人10分、2人程度）	20分
00:25	チーム分け（人数が多い場合）	5分
00:30	グループディスカッション（3～5人）	1時間
	自己紹介（10分）	
	活用紹介（50分）	
01:30	発表（1チーム10分、2チーム程度）	20分
01:50	まとめ、閉会	5分
01:55	片付け	5分
02:00	退室	

参加費:

無料

経費（開催者負担）:

資料印刷代など

備品（開催者準備）:

ボールペン、名札、会場案内看板、裏写りしないマジック、情報記入シート、活動日誌、カメラ（スマホ）、勉強会説明資料

周知方法:

インターネットホームページへの掲載

※要相談、公民館でのチラシ配布、コミュニティ瓦版へのチラシ掲示

周知の期間は2週間程度

開催者:

井川 健一

パソコン教室のイカワ

Tel: 050-5850-3170

E-mail: school@ikaken.com